

平成23年度 決算報告

観光を切り口とした地域経済・産業の活性化を推進する「株式会社まちづくり小浜（おばま観光局）」の平成23年度（第2期）の決算と取組事業の概要をお知らせします。

■問い合わせ おばま観光局 ☎ 56・3366

損益計算書

| | | | |
|-------|----------|-------|----------|
| 営業費用 | 9,789万円 | 営業収益 | 10,108万円 |
| 営業外費用 | 32万円 | 営業外収益 | 65万円 |
| 法人税等 | 45万円 | | |
| 当期純利益 | 307万円 | | |
| 計 | 10,173万円 | 計 | 10,173万円 |

貸借対照表

| | | | |
|------|---------|-------|---------|
| 流動資産 | 3,615万円 | 流動負債 | 1,265万円 |
| 固定資産 | 182万円 | 資本金 | 2,500万円 |
| | | 利益剰余金 | 32万円 |
| 計 | 3,797万円 | 計 | 3,797万円 |

【平成23年度（第2期）の主な取り組み】

●体験観光メニューの企画・開発・発信

キッズ・キッチンを軸に、野菜収穫体験や漁業体験などと組み合わせた“食育ツーリズム”商品を企画・開発し、京阪神地域からの体験観光客の誘致を促進

●ご当地グルメ商品の開発・販売

特産品トッピングソフトクリーム
鯖カレー、サバ&ポテト、道の駅弁当など



特産品トッピングソフト

●観光もてなし案内事業

NHK 大河ドラマ「江～姫たちの戦国～」の放映に合わせ、京極高次やお初（常高院）にふんし、観光客をもてなし案内

●道の駅「若狭おばま」イベント

毎月恒例のミチフリマーケットなど市民協働によるにぎわい創出イベントを実施



大勢の人でにぎわうミチフリマーケット（今年5月・道の駅「若狭おばま」）

●まちづくり市民幹事会による地域活性化

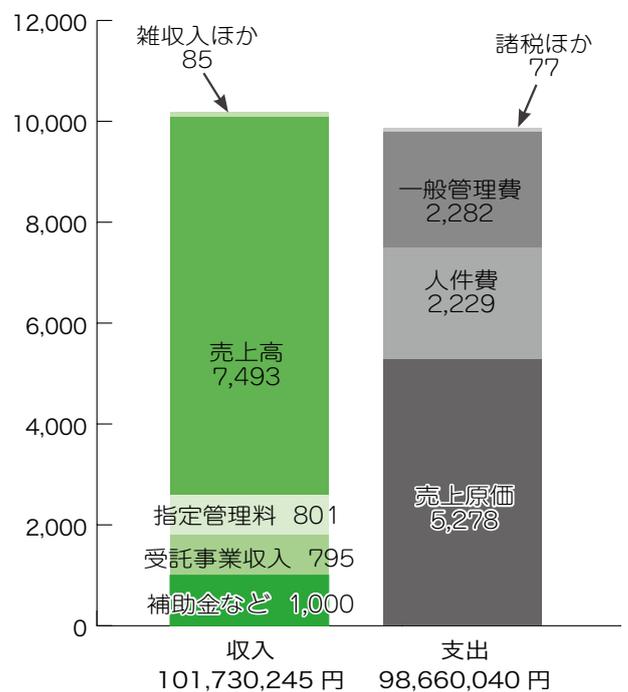
上根来地域を中心に、「ころび（油ぎり）」を活用した地域活性化への取り組みを開始

【経営状況】

収益事業の基幹となる道の駅「若狭おばま」の経営において、おみやげ品・フードコーナーの品ぞろえの充実や新商品の開発などに努めました。また、舞鶴若狭自動車道 小浜ICの開通も好影響をもたらし、売上を大きく伸ばすことができました。

さらに、人件費の抑制に努めるとともに、歩率の改善など適正な収益構造となるよう経営努力したことなどにより、307万円の当期純利益を上げることができ、前年度の赤字275万円を解消し、黒字に転換することができました。

収入と支出の内訳



【今後の取り組み】

おばま観光局では、おもてなし基盤として食育ツーリズムなど体験観光メニューの企画や6次産業化にもつながるご当地グルメの開発などに取り組んでおり、観光客の滞在時間の延長による観光消費の促進、地域経済・産業の活性化に努めています。

観光客の皆さんの満足度を高めるためには、オール小浜体制での“おもてなしの心”が不可欠です。今後も、おばま観光局が牽引役となって、市民の皆さんと一緒に、おもてなし基盤の構築に努めます。



“食育ツーリズム”野菜収穫体験（昨年10月・道の駅横市民農園）